

基調講演

私たちの社会の未来像に向けて ～ヒマラヤの森と社会から学ぶ～

日時：平成25年7月7日（日）

講師：稲村 哲也（愛知県立大学名誉教授・放送大学教養学部教授）

概況



平成25年度期「あいち海上の森大学」が7月7日に開校しました。

開校式は愛知県立大学多目的ホールにて開催し、開校記念講演では「私たちの社会の未来像に向けて ～ヒマラヤの森と社会から学ぶ」をテーマに、愛知県立大学名誉教授・放送大学教養学部教授の稲村哲也氏に講演いただきました。

講演内容は主にネパールやブータンの農業、生活、宗教についてであり、

- ・農業については、牛の仲間であるヤクとゾムの飼育、牛とミタンの交雑種であるジャサムについての紹介、
- ・生活については、飼育されている動物との生活、サルだけを狩りする種族の生活のほか、母系社会や父系社会が定着した要素、受け継がれている多様な風俗と文化についての紹介、
- ・宗教については、チベット仏教とその寺院、巡礼者を受け入れる宿坊などの生活についての紹介

がなされました。

こうしたヒマラヤの環境と社会から考え出されたGNH(国民総幸福量:公正で公平な社会経済の発達、文化的・精神的な遺産の保存・促進、環境保護、良き統治、を4本柱とする)という考え方を踏まえ、

①2017年、都市緑化フェア・万博開催10周年をきっかけに、未来型社会への転換
(心地よい、持続的・低リスクの社会を取り戻す)

②「森と町を結ぶいのちの街道」:海上の森・モリコロパークなどの森から名古屋・市
街地に向けて複合型グリーンベルト(緑地を線をつないでいくだけでなく、緑の中の街
道とし、自然と触れる場、生態系を学ぶ場、地域文化や地域のものづくり地場産業な
どの育成の場とし、同時に防火林、地震・津波などの激甚災害時の避難路としての機
能をもたせる)を伸ばしていく

という、2つの提言がなされました。